

# 2015年度環境活動レポート

活動期間 2015年4月～2016年3月

## 目次

1. 組織の概要
2. 対象範囲
3. 環境方針
4. 環境目標
5. 環境活動計画とその評価
6. 環境目標の実績
7. 活動計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容
8. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価結果並びに違反、訴訟等の有無
9. 代表者による全体評価と見直しの結果

作成日 2016年4月30日  
改定日 2016年9月27日  
日本サーモニクス株式会社

## 1. 組織の概要

### 1) 事業所名及び代表者名

日本サーモニクス株式会社 石川 秀實

### 2) 所在地

本社工場 神奈川県相模原市中央区田名塩田1-13-6  
研究開発棟(ラボ) 神奈川県相模原市中央区田名塩田1-11-18

### 3) 環境管理者氏名及び担当者連絡先

佐々木 亨 042-777-3411 sasaki@thermonics.co.jp

### 4) 事業の活動内容

高周波誘導加熱装置の設計・開発・製造・販売  
その他省力機器の設計・開発・製造・販売

### 5) 事業の規模

活動規模	単位	2010年	2012年	2013年	2014年	2015年
売上高	百万円	1001.7	1637	1803	1697	1557.4
出荷高	百万円					1417.4
従業員	人	48	48	55	57	59
床面積(本社)	m <sup>2</sup>	2022.41	2022.41	2022.41	2022.41	2022.41
床面積(ラボ)	m <sup>2</sup>	1513.7	1513.7	1513.7	1513.7	1513.7

## 2. 対象範囲

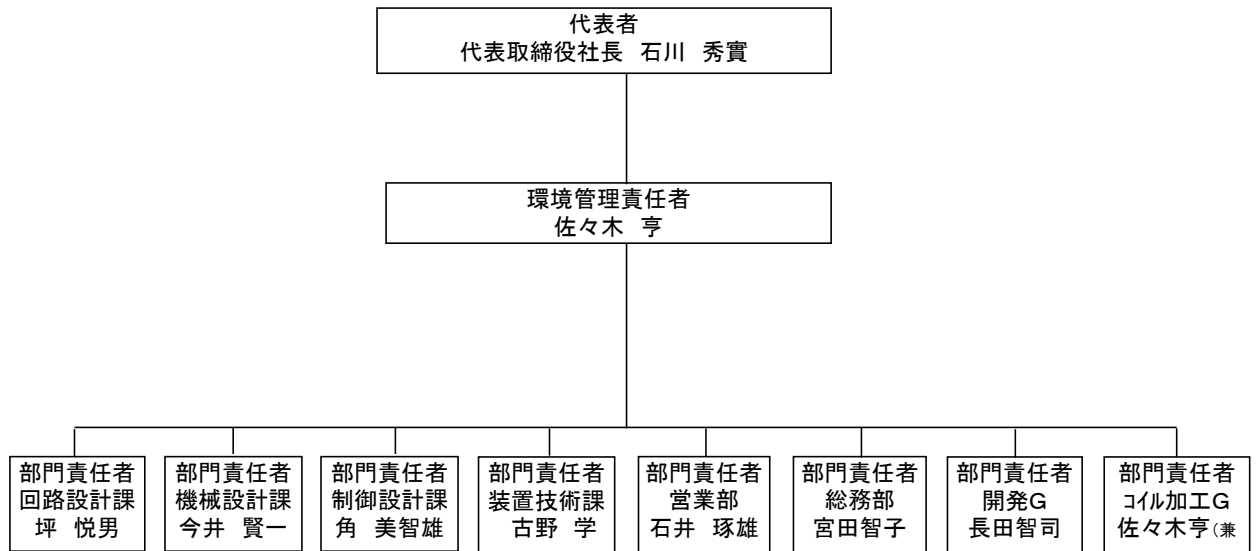
### 1) 認証登録範囲

事業活動全体  
日本サーモニクス本社工場及び日本サーモニクスラボ

### 2) レポートの活動期間、発行日

2015年4月～2016年3月  
2016年4月30日 発行日  
2017年4月頃 次回発行予定日

## 環境管理実施体制表



役職	責任および権限
代表取締役社長	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 環境管理責任者の任命</li> <li>2. 環境方針の制定</li> <li>3. 環境経営システムの実施および管理に必要な資源の準備</li> <li>4. 環境経営システムの定期的見直しの実施</li> <li>5. 社内情報の外部公開可否決定</li> </ol>
環境管理責任者	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 環境経営システムの確立、実施、維持、継続的改善</li> <li>2. 社長への環境経営システムの実施状況報告</li> <li>3. 諮問機関である環境委員会の委員長として委員会の運営</li> <li>4. 関連法規の取りまとめ表の維持管理、遵守徹底</li> <li>5. 環境関連文書及び記録の作成・整理</li> </ol>
部門責任者	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 環境経営システムの方針、実施計画を自部門で実施、維持、継続的改善</li> <li>2. 環境上の緊急事態への準備及び対応</li> <li>3. それぞれの業務・役割に応じ、必要な教育訓練を適切に計画・実施</li> </ol>

(回覧ルート)

社長→部門責任者、環境管理責任者

(回覧ルート)

社長→部門責任者、環境管理責任者

### 3. 環境方針

#### [方針]

- 1) 事業活動としての高周波誘導加熱装置製造業務に於いて、環境に与える影響を的確に把握し、技術的、経済的に可能な範囲で環境目的・目標を定め、管理プログラムを設定しこれを実行すると共に定期的に見直しを行い、環境汚染防止及び環境保全活動の継続的改善・向上を図ります。
- 2) 環境保全に関する法規制を順守し、その他の要求事項を遵守し、一層の環境保全に取り組みます。
- 3) 保全活動を推進するため、全ての組織及び従業員が活動できる環境管理組織を整備します。
- 4) 事業活動の中で、特に以下の項目について優先的に保全活動を推進します。
  - ① 環境保全活動  
生産活動における電力をはじめとする諸エネルギーの無駄を省き高効率化を進めます。  
営業・生産活動における車両の保守点検作業の励行と安全運転(エコ運転)の遵守に努め、ガソリン使用量の削減に努めます。**環境負荷低減車両に更新してゆきます。**
  - ② 工場・オフィスにおける環境負荷の低減  
工場・オフィスで使用する電気使用量の削減、廃棄物の削減、水使用量の削減に努めます。**省エネ機器の導入を推進します。**
  - ③ 廃棄物の削減  
分別により資源の有効利用と廃材の再資源化を図り、廃棄物を削減します。
  - ④ 節水活動  
水の使用を出来る限り抑え、排水量を削減します。  
□
  - ⑤ 調達資材のグリーン購入を積極的に行います。
  - ⑥ 自らが製造する高周波誘導加熱装置の省エネルギー化を推進し環境配慮に努めます。**高効率タイプの部品の使用を増やしてゆくよう努めます。**
- 5) 環境教育を実施し全社員が環境方針の遂行に当たり環境に関する意識向上を図ると共に、取引先へも環境基本方針を周知し、理解と協力を要請します。

作成2011/12/1

更新2015/3/30

日本サーモニクス株式会社  
代表取締役社長 石川 秀實

#### 4. 環境目標

環境への負荷の現状と取組状況のチェック結果を検討し、非常に効果が期待できるものとして、総エネルギー投入量、水資源投入量、廃棄物処分量、などの削減に取り組むこととした。

一方、昨今の社会的要請により、環境保全の取組として、事業活動へのインプットに関する項目、事業活動からのアウトプットに関する項目、環境経営システムに関わる項目に積極的に取り組むこととした。

環境負荷と環境への取組結果を踏まえ定めた環境負荷低減のための目標は次の通りである。

作成日2015年4月1日

承認	作成者
石川秀貴	佐々木 亨

## 環境目標

目 的		基準年 2010年	2012年	2013年	2014年	2015年	
		2010年度4月～2011年3月	12年4月～13年3月	13年4月～14年3月	14年4月～15年3月	15年4月～16年3月	
二 排 酸 化 炭 素	全体の二酸化炭素排出量	165671 (kg-CO <sub>2</sub> ) 165.34kg-CO <sub>2</sub> /百万円	基準年売上高比2%削減 162.03kg-CO <sub>2</sub> /百万円 162358 (kg-CO <sub>2</sub> )	基準年売上高比3%削減 160.38kg-CO <sub>2</sub> /百万円 160701 (kg-CO <sub>2</sub> )	基準年売上高比4%削減 158.73kg-CO <sub>2</sub> /百万円 159044 (kg-CO <sub>2</sub> )	基準年売上高比5%削減 158.073kg-CO <sub>2</sub> /百万円 157387 (kg-CO <sub>2</sub> )	
	電気使用量の削減	本社	141954 k Wh 54510(kg-CO <sub>2</sub> )	139115 k Wh 53420(kg-CO <sub>2</sub> )	137695 k Wh 52875(kg-CO <sub>2</sub> )	136276 k Wh 52330(kg-CO <sub>2</sub> )	134856 k Wh 51785(kg-CO <sub>2</sub> )
		ラボ	50502 k Wh 19393(kg-CO <sub>2</sub> )	49492 k Wh 19005(kg-CO <sub>2</sub> )	48987 k Wh 18811(kg-CO <sub>2</sub> )	48482 k Wh 18617(kg-CO <sub>2</sub> )	47977 k Wh 18423(kg-CO <sub>2</sub> )
		総合	192456 k Wh 192kWh/百万円 73903(kg-CO <sub>2</sub> ) 65.52kg-CO <sub>2</sub> /百万円	基準年売上高比2%削減 188607 k Wh 188kWh/百万円 72425(kg-CO <sub>2</sub> ) 64.21kg-CO <sub>2</sub> /百万円	基準年売上高比3%削減 186682kWh 186kWh/百万円 71686(kg-CO <sub>2</sub> ) 63.57kg-CO <sub>2</sub> /百万円	基準年売上高比4%削減 184758kWh 184kWh/百万円 70947(kg-CO <sub>2</sub> ) 62.94kg-CO <sub>2</sub> /百万円	基準年売上高比5%削減 182833kWh 182.4kWh/百万円 70208(kg-CO <sub>2</sub> ) 62.24kg-CO <sub>2</sub> /百万円
	ガソリン使用量の削減 (生産・営業)	28824ℓ 28.77ℓ/百万円 66920(kg-CO <sub>2</sub> ) 66.79kg-CO <sub>2</sub> /百万円	基準年売上高比2%削減 28248ℓ 28.19ℓ/百万円 65582(kg-CO <sub>2</sub> ) 65.45kg-CO <sub>2</sub> /百万円	基準年売上高比3%削減 27959ℓ 27.91ℓ/百万円 64912(kg-CO <sub>2</sub> ) 64.79kg-CO <sub>2</sub> /百万円	基準年売上高比4%削減 27671ℓ 27.63ℓ/百万円 64243(kg-CO <sub>2</sub> ) 64.15kg-CO <sub>2</sub> /百万円	基準年売上高比5%削減 27383ℓ 27.33ℓ/百万円 63574(kg-CO <sub>2</sub> ) 63.45kg-CO <sub>2</sub> /百万円	
灯油使用量の削減 冬季のみ使用 生産(ストーブ)	1680ℓ 4186 (kg-CO <sub>2</sub> )	基準年売上高比2%削減 1646ℓ 4102 (kg-CO <sub>2</sub> )	基準年売上高比3%削減 1630ℓ 4060 (kg-CO <sub>2</sub> )	基準年売上高比4%削減 1613ℓ 4019 (kg-CO <sub>2</sub> )	基準年売上高比5%削減 1596ℓ 3977 (kg-CO <sub>2</sub> )		
廃棄物	本社・ラボ	4670kg 4.66kg/百万円	基準年売上高比2%削減 4577kg 4.57kg/百万円	基準年売上高比3%削減 4530kg 4.52kg/百万円	基準年売上高比4%削減 4483kg 4.47kg/百万円	基準年売上高比5%削減 4437kg 4.43kg/百万円	
上水の使用量の削減 (m <sup>3</sup> )		617t 0.61/百万円	基準年売上高比2%削減 605 t 0.597/百万円	基準年売上高比3%削減 598 t 0.592/百万円	基準年売上高比4%削減 592 t 0.586/百万円	基準年売上高比5%削減 586 t 0.580/百万円	
グリーン購入 件/年間	不明	購入の推進	購入の推進	購入の推進	購入の推進		
自らが生産・販売・提供する製品及びサービスに関する項目	不明	省エネ機構回路5件 装置取り込む	省エネ機構回路10 件取り込む	省エネ機構回路15 件装置取り込む	省エネ機構回路20 件装置取り込む		

環境省22年12月27日報道発表資料より(東京電力0.384kg-CO<sub>2</sub>/kwh)

2015年4月～2016年3月売上高 1557.4百万円

2015年4月～2016年3月出荷高 1417.4百万円

5、環境活動計画とその評価

2015年度環境活動計画書とその評価

作成:2015年3月31日  
更新:2016年4月30日

承認	作成
石川	佐々木

評価 ○:達成 ×:未達 □:計画 ■:実績

NO	2010年度基準 中期目標	年度目標	施策	責任者	2015年度												年間	原単位
					4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
1	二酸化炭素削減 (電力の削減) 2010年度基準 5年後基準年売上高比 5%削減 192KWH/百万円 ↓ 182KWH/百万円	基準年売上高比5%削減  192KWH/百万円 ↓ 182KWH/百万円	計画電力量(KWH) 同累計(KWH) 実績電力量(KWH) 同累計(KWH) 年度末に実績を出荷高でわる。 126.89kwh/百万円	佐々木	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	◎	◎
					15166	15166	15166	15166	15166	15166	15166	15166	15166	15166	15166	15166		
					15236	30472	45708	60944	76181	91417	106653	121889	137125	152361	167597	182833		
評価					×	○	○	○	○	○	×	○	×	×	×	×	×	
2	二酸化炭素削減 (自動車排ガスの低減) 5年後売上高比5%削減 66.79kg-CO2/百万円 ↓ 63.45kg-CO2/百万円	基準年売上高比5%削減  66.79kg-CO2/百万円 ↓ 63.45kg-CO2/百万円	燃費向上運転の励行 燃料使用計画量(L) 同累計(L) 燃料使用量実績(L) 同累計(L) 年度末に実績を出荷高でわる。 kg-CO2/百万円	内山	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	◎	◎
					2282	2282	2282	2282	2282	2282	2282	2282	2282	2282	2282	2282		
					4564	6846	6846	9128	11410	13691	15973	18255	20537	22819	25101	27383		
評価					○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
3	事業系一般廃棄物の削減 紙類(雑誌、カタログ、)	事業系一般廃棄物の 分別	一般廃棄物 944.6kg 雑誌 127.9kg OA用紙 29.1kg	佐々木 宮田	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	◎	◎
					47	54.7	106	240	60	30.3	48.1	46.8	202	38.6	39.6	31.2		
評価					○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
4	産業廃棄物排出量削減 適正管理の推進 5年後売上高比10%削減 4.66kg/百万円 ↓ 4.43kg/百万円	基準年売上高比5%削減  4.66kg/百万円 ↓ 4.43kg/百万円	古紙分別(段ボール再資源化) 産業廃棄物計画排出量(kg) 産業廃棄物実績排出量(kg) 年度末に実績を出荷高でわる。 3.18kg/百万円	佐々木	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	◎	◎
					113	81.5	78.3	134	43.2	69.4	146	41.5	159	83.3	27.1	89.8		
					370	370	370	370	370	370	370	370	370	370	370	370		
評価					○	○	×	○	×	×	×	○	×	○	○	○		
5	排水量削減 5年後売上高比5%削減 616ℓ/百万円 ↓ 585ℓ/百万円	基準年売上高比5%削減  616ℓ/百万円 ↓ 585ℓ/百万円	節水に対する呼びかけ 調整時循環水槽の利用促進 排水計画量(m3) 排水実績量(m3) 年度末に実績を出荷高でわる。 423ℓ/百万円	古野	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	◎	◎
					48.8	48.8	48.8	48.8	48.8	48.8	48.8	48.8	48.8	48.8	48.8	48.8		
					48.8	97.5	146	195	244	293	341	390	439	488	536	585		
評価					×	○	○	×	×	×	×	×	○	○	○			
6	灯油使用量の削減 5年後売上高比5%削減 1.677ℓ/百万円 ↓ 1.593ℓ/百万円	基準年売上高比5%削減  1680ℓ ↓ 1596ℓ	ストーブ使用の削減 室温を確認し入り切を行う 購入計画量(ℓ) 購入実績(ℓ) 11432	古野	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	◎	◎
					319	-	-	-	-	-	-	-	319	319	319			
					150								0	338	485	170		
評価					○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
7	グリーン調達推進 15年4月~16年3月 グリーンマークの物品 の購入の推進	事務用品などの購入品のグリーン調達 対応品の購入の推進 件数 60種	宮田	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	◎	◎	
				9	22	8	12	10	13	16	11	11	7	11	8			
評価					○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
8	自らが生産・販売・提供する 製品及びサービスに関する 省エネ機構回路を装置 項目	インバーターなどを利用し減力運転回路 や画面のライトを消すなどの省エネ回路 を装置に取り込む 合計 27 件 全42件中	佐々木	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	◎	◎	
				1	5	0	1	4	3	3	0	3	1	5	2			
評価					○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
9	環境教育 全社員教育完了	新入社員教育 管理者教育 社員教育	佐々木	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	○	○	
				■実施	■実施	■実施	■実施	■実施	■実施	■実施	■実施	■実施	■実施	■実施				
評価					○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
10	化学物質の適正管理 化学物質の適正管理	SDSでの適正管理 化学物質使用量把握	坪 岳元	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	◎	◎	
				■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■			
評価					○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
NO.	評価・確認 月日	評価・確認者	評価・確認名称(定期、臨時)	評価・確認結果、コメント、是正処置等														
	2016年4月	佐々木 亨	定期	<b>結果・実績</b> 電気使用量 179802kwh/1417百万円 燃料使用量 18965ℓ/1417百万円 排水量 599t/1417百万円 産業廃棄物 4.510t/1417百万円 126.89kwh/百万円 13.38ℓ/百万円 422.7ℓ/百万円 3.183kg/百万円														

## 6、環境目標の実績

今年度の環境保全活動が終了し、社長と環境管理担当者が環境への取組結果の評価を行った。  
評価結果は次の通りである。

No.	推進項目	単 位	期 間 目 標	2015年4月～2016年3月実績	評 価
1	二酸化炭素排出量削減 (出荷高当り)		157387(kg-CO2)	115921.1(kg-CO2)	◎
		kg/百万円	158.07kg-CO2/百万円	81.80kg-CO2/百万円	◎
	電気使用量		182833kWh	179802kWh	◎
		kwh/百万円	182kWh/百万円	126.89kWh/百万円	◎
	ガソリン使用量削減		27383ℓ	18965ℓ	◎
		kg/百万円	63.45kg-CO2/百万円	31.07kg-CO2/百万円	◎
灯油使用料削減	ℓ	1596ℓ	1143ℓ	◎	
2	産業廃棄物削減 (出荷高当り)		4437kg	4510kg	×
		kg/百万円	4.43kg	3.18kg	◎
3	水使用量削減 (出荷高当り)	m3	585	599	×
		m3/百万円	0.58	0.422	◎
4	グリーン購入の推進 (購入の推進)	件数	推進	60件	◎
5	自らが生産する製品サービス (省エネ機能・部品利用)	件数	20件	28件	◎

- ・今年度は、推進項目5項目のうち、原単位完全達成5項目、総量単位不完全未達成2項目となった。
- ・前年と同様総量では増えた項目が廃棄物、水使用量となったが原単位ベースでは全て目標通り削減できた。

## 7. 活動計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容

### 活動計画の取組結果とその評価

#### 1、二酸化炭素排出量削減(電力)

弊社に於いて一番のエネルギー消費は電気であり節電することが一番のCO2削減につながる  
昨年度に続き節電の取り組みとして休憩時間の消灯、工場循環水ポンプの停止、設備の電源停止、や照明削減(蛍光灯の  
不必要部分の取り外し)、  
製作装置が同時運転にならない様に工程の調整、声の掛け合い等を行い電力削減に向けて取り組んだ。  
**また2階、3階事務所をLED照明に変更した。**  
昨年度に引き続きラボ・本社とも電気デマンドをモニターし、電気使用量が一定値を超えないように注意して業務に従事した。

#### 2、二酸化炭素排出量削減(自動車排ガスの低減)

ガソリン使用量の削減は営業・生産の個々のガソリン使用量(燃費)の計測記録をし  
運転方法に気を遣い総量及び原単位でも目標を達成した。

#### 3、二酸化炭素排出量削減(灯油)

ラボは例年通りストーブを使用し、冬季に受注が重なりラボで組立を行った為、前年より使用量が増えてしまった。

#### 4、廃棄物排出量削減

受注量が前年より減ったが廃棄物排出量は目標値より増大してしまった。原単位による目標は達成することができた。

#### 5、排水量削減

製品を冷却する為の水を循環利用したが人員が増え前年より使用量は増大してしまった。

#### 6、グリーン調達

グリーン調達にあっては事務用品などはグリーン調達品であり、購入するため製品の把握をし購入に努めた。

#### 7、自らが生産・販売・提供する製品及びサービスに関する項目

昨年と同様製作している装置にインバーターなどを取付減力運転できるようにした。  
またバックライトの消灯や表示灯のLED化を増やし省エネ装置になるように設計・製作した。

#### 8、環境教育

新入社員の教育、緊急時訓練を行った。全体集会以のエコアクションの取り組みなどの  
説明などを行った。

本年は装置受注が前年比10%減少したため、総排出量が減った。しかし排水量及び廃棄物が前年を上回ってしまった。  
売上が減少したが原単位では削減ができたと思う。

一部社員に分別の認識が低い者がいることもあり、分別をよりいっそう進めるよう社員の意識向上を務めていきたい

## 次年度の取組

基準年基準値より6%の削減を目標とする。

次年度はコストを上げずに、さらに削減する方法を社員一丸となって考えて実行して行きたい。

次年度の取組内容は下記のとおりである。

### 1、二酸化炭素排出量削減(電力)

1階工場の照明に一部水銀灯が残っている。これをLEDの局所照明化し電気の消費抑制を進めて行きたい

1階工場の照明をHF蛍光灯からLED化し電気量の削減を図りたい

また空調の省エネモードを活用しより一層削減量を増やして行きたい。

### 2、二酸化炭素排出量削減(自動車排ガスの低減)

把握した個々の燃料消費を削減する為、各自の削減目標(燃費)を決め達成できるようにエコ運転の講習などに

参加し削減量を増やして行きたい

### 3、弊社の灯油使用は冬場の暖房のみであり、気候によって左右される。しかし灯油使用量の削減を進める為

ストーブ利用の基準を冬季までに作成し社員全員で実行して行きたい。

### 4、廃棄物排出量削減

産業廃棄物と一般廃棄物との分別をさらに進め、コピー、新聞紙、雑誌などをリサイクルして廃棄物を減らしていきたい

### 5、排水量削減

装置冷却水を外部に排出しないように循環水槽の数を増やし節水に努めたい

トイレ手洗いを自動栓にして節水を計る

### 6、グリーン調達

購入している事務用品の多くの物がグリーンマーク付の商品の為、グリーン製品以外の物品を洗い出し、

グリーン製品に置き換えていきたい。事務用品以外でも同様グリーンマーク商品を調達して行きたい

### 7、自らが生産・販売・提供する製品及びサービスに関する項目

工場内の動力設備にインバーターを取り付け消費量にあった減力運転を行い電力削減に

努め販売する装置にあっては、ポンプタイマー、インバーター付加、等コストに見合った省エネ回路・機能を装置に取り込んで行きたい。

### 8、環境教育

新入社員の教育はもとより、省エネの意識を全社員で高めて行くよう、各課による朝礼、部課会議、責任者会議等を利用し広めて行きたい。



## 8. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価結果並びに違反、訴訟等の有無

内 容	過去3年から現在までの結果
遵守状況の確認及び評価結果 法律違反の有無	16年3月30日 環境関連法規等の取りまとめ一覧をもとに遵守状況のチェック結果、取り決められたことが確実に守られていました。 また、違反は、ありません。
訴訟の有無	なし

## 9. 代表者による全体評価と見直しの結果

CO2排出量－26%、ガソリン使用量－31%、電気使用量－31%と各目標値に対して  
の満足する数値となった。

2～3年様子を見ないと真の判断はできない。

以上